



# 1月の星空案内

北

2026年1月中旬  
21時頃の空

東

西

南



- 0等星
- 1等星
- 2等星
- 3等星

新年あけましておめでとうございます。夜空の星たちも新年を祝福するかのように明るく輝いています。1月の一番星は一等星よりも明るく輝く**木星** (-2.7等) です。木星のすぐ近くには**ふたご座のポルツクス** (1.2等) と**カストル** (1.6等) があり、木星とあわせて3つ子に見えるかもしれません。さて木星から目線を下げて見ると**こいぬ座のプロキオン** (0.4等) を見つけることができます。さらに南に目線を下げる全一等星の中で一番明るく輝く**おおいぬ座のシリウス** (-1.4等) が見つかります。ここから少し西へ目線を動かすと、特徴的な4つの星の中に3つ星が連なる**オリオン座**があり、オリオンの右肩に輝くのは**ベテルギウス** (0.5等)。プロキオンとシリウス、そしてベテルギウスをつなげると**冬の大三角**の完成です。そして南のかなり低い位置を見てみるとしかすると**カノープス** (-0.6等) が見えるかもしれません。カノープスは南極老人星と呼ばれ、見ると長生きできるといわれています。

天体観望会のご予約はネットかお電話にて【毎週土曜日開催】

阿南市科学センター 電話 0884-42-1600 <https://www.ananscience.jp/science/>

# ■ 1月の月の満ち欠けと惑星について



満月  
3日



下弦  
11日



新月  
19日



上弦  
26日

1月の天体観望会で月が見える日時は？



1/24(土)‥全ての回で観察可能



1/31(土)‥全ての回で観察可能

水星：上旬頃、夜明け前東のごく低空で見える。【-0.6等】

金星：太陽に近く、観察は難しい。7日に外合をむかえる。

火星：太陽に近く、観察は難しい。

木星：宵の口から東の空で見えはじめる。【約-2.7等】

土星：宵の口から西の空で見えるが、前半夜のうちに沈んでしまう。【約1.1等】

※各惑星の等級は中旬頃の明るさ。ただし水星は1/1の明るさ。

金星は外合を境に明けの明星から宵の明星に切り替わるんだ！また今度は2月になつたら夕方の空を見てみよう！



## ■ 今月の天文現象

### 【4日未明 しぶんぎ座流星群が極大】

三大流星群の一つ、しぶんぎ座流星群が極大を迎えます。極大時刻は4日午前6時ごろ、流星群の観察には悪くない時間ですが、この日は月が月齢16日と、空の条件があまりよくありません。放射点はうしかい座とりゅう座の間で、北斗七星や一等星アーティラリストが目印となるでしょう。ところで「しぶんぎ座」という星座は聞いたことがありますか？かつてりゅう座どうしかい座との間にあった壁面四分儀座という星座が存在しましたが、国際天文学連合によって1922年に88星座が設定され、壁面四分儀は選定から外れたことにより、現在では使われていない星座となっています。さて、歴史の名残を冠した流星群を観察するときは、できるだけ広い視野を確保でき、明かりの少ない場所で見るといいでしよう。観察は3日夜から4日未明にかけてがおすすめです。新年早々に流星を見れたらなにか今年はいいことがあるかもしれませんね。

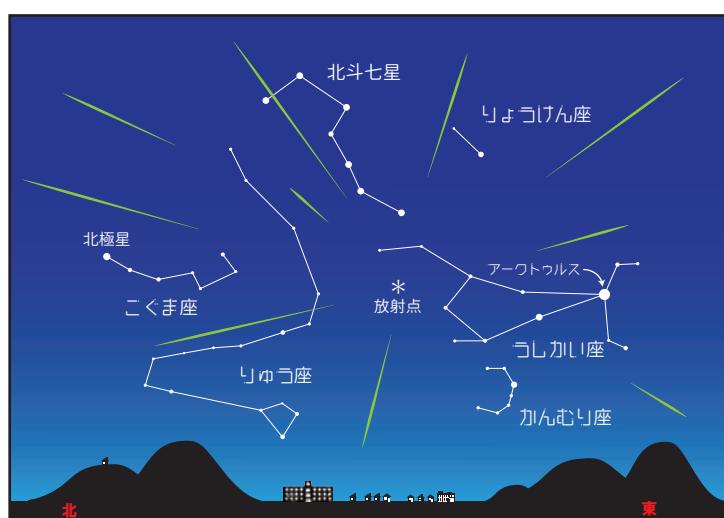


図1 しぶんぎ座流星群極大日の夜空  
(2026年1月4日午前3時の阿南市から見た夜空)  
※ステラナビゲータをもとに作成

## ■ イチオシ天体写真

### 【星が生まれる場所、オリオン大星雲】

オリオン大星雲はオリオン座の三ツ星の下部にある星雲。地球から約1400光年と比較的近い位置にあるため、眼視でも観察することができる天体です。星の材料となる水素ガスが豊富なため、ここでは星がたくさん誕生しています。オリオン大星雲から生まれた星は散開星団として星雲の中心付近に集まっており、その星々は生まれて十万年～数百万年程度しか経っていないと推測されています。このなかでも有名な星団がトラペジウムです。台形の意味を持つトラペジウムは図2に丸点線で囲った場所にあり、四重星として知られています。かつてガリレオ・ガリレイがこのうち3つの星をスケッチしていたとして有名です。

さて、この星雲を実際に観察してみたいと思う方は、双眼鏡や低倍率の望遠鏡を使うといいでしよう。残念ながら人間の目は赤い色を感じにくいため、モノクロに見えることが多いですが、もしかしたら少しだけ色づいた部分が見えるかもしれません。

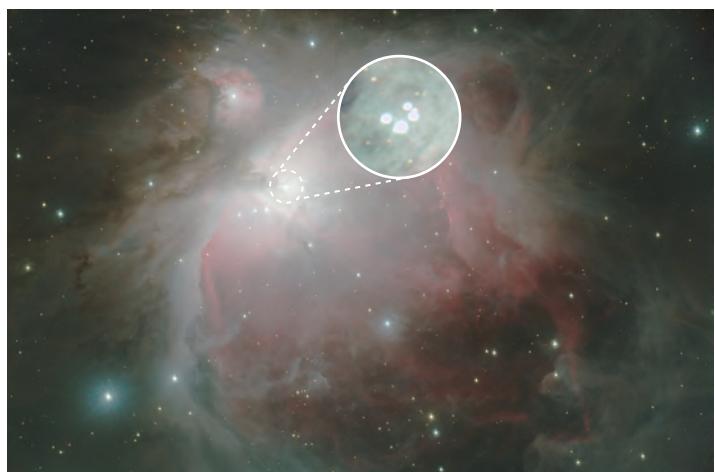


図2 オリオン大星雲(M42)とトラペジウム  
(M42 : 25.4cm 屈折望遠鏡 + ASI6200MCpro / 60s × 60, Gain100, -10°C, Bin × 2  
トラペジウム : 113cm + ASI6200MCpro / 120s × 10, Gain100, -10°C, Bin × 2)